

広告原稿

①広告主名 株式会社 中央公論新社	②著作物等のジャンル 言語の著作物（書籍）
③著作物等の概要 1980年3月、新建築社から刊行された、吉田五十八著『饒舌抄』（絶版）の文庫での復刊にあたり、著作権承継者を捜しております。	
④連絡先 社名 株式会社 中央公論新社 担当者名 藤平 歩（文庫推進部） 住所 〒100-8152 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル19階 TEL 03-5299-1890 FAX 03-5299-1943 E-mail a-fujihira@chuko.co.jp	
⑤詳細 <p>小社では、近代数寄屋建築の第一人者で、東京藝術大学教授、日本芸術院会員、文化勲章受章者の吉田五十八（よしだ・いそや）氏（1894～1974）の没後に、吉田五十八作品集編集委員会と新建築社によって編まれたエッセイ集、『饒舌抄（じょうぜつしょう）』の、文庫での復刊を企画しております。</p> <p>吉田五十八氏の著作権は、妻の初枝氏が承継されましたが亡くなられ、その後の承継者の方の連絡先がわかりません。</p> <p>1975年から1993年まで、吉田五十八記念芸術振興財団により、「吉田五十八賞」の表彰がされてきましたが、第18回をもって終了、財団も解散しています。</p> <p>元本の版元である新建築社に照会しましたが、当時の担当者との連絡もつかず、著作権については承知していないとの回答をいただいています。</p> <p>また、吉田五十八氏の図面・アルバム・スケッチなどの遺品・資料は、東京藝術大学に寄贈され、現在、同大学美術館の所有となっておりますが、同館および東京藝術大学建築科に照会したところ、言語による著作物の著作権を取得したということは確認できないとの回答を得ております。</p> <p>ついては、吉田五十八氏の著作権および著作権承継者についての情報をお持ちの方は、ぜひお知らせいただければ幸いです。</p> <p>*吉田五十八 略歴 1894年東京日本橋生まれ。1923年東京美術学校卒業。1930年代中ごろから、数寄屋造りの近代化による住宅を発表。日本の伝統建築にモダニズムの手法を吹き込んだ。1946～61年東京美術学校、東京藝術大学教授。のち同大学名誉教授。54年日本芸術院会員。64年文化勲章受章、文化功労者。74年3月死去。従三位勲一等瑞宝章を追授。主な作品に、小林古径、山川秀峰、川合玉堂、梅原龍三郎、山口蓬春ら画家の画室や、吉田茂邸、吉屋信子邸、岩波茂雄邸、猪俣邸、岸信介邸などの住宅建築、成田山新勝寺本堂、中宮寺本堂、満願寺などの寺院建築、五島美術館、大和文華館などの美術館建築がある。</p>	

